

2018-10-11

ふじさわ・九条の会ニュース

No.54



発行人 ふじさわ・九条の会 事務局長 吉塚晴夫 090-7949-9854

HP(ホームページ) <http://hws2.spaaqs.ne.jp/fujisawa9jo/>

検索「ふじさわ・九条の会」でも開けます。

日本国憲法 第2章 戦争の放棄

第9条 ①日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

②前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

平和へ！ 希望を現実にする時代がやってきた

(鴨志田 直紀)

9月26日は国連が定めた「核兵器の全面的廃絶のための国際デー」です。当日、国連本部で核兵器禁止条約署名・批准式が行われ、署名69カ国、批准19カ国に達しました。条約は50カ国の批准で発効します。核兵器廃絶国際キャンペーン(ICAN)の



核兵器禁止条約の署名・批准書提出式＝26日、国連本部

ティム・ライト氏は「他の大量破壊兵器関連の条約に比べ、記録的なペースで（批准が）進んでいる」と指摘、核保有国など、まだ署名・批准していない国でも、市民運動が大いに展開されています。

国際デーに先立つ24日には核兵器廃絶日本NGO連絡会の主催で「核なき世界へ向けて 被爆国の役割を考える」と題する集会が開かれ、吉永小百合さんがトークイベントに参加、「本当に素晴らしい条約がつくられた。何とか批准して、核兵器のない、本当に平和な世界をつくらせていくというのが大事」「核兵器は絶対ない方がいいし、『核の傘』は要らない・・・私たちが声を出して政府に働きかけ、一緒にやりましょうよと言いたい」と呼びかけました。

「核廃絶国際デー」に先立つ9月19日には、今年3度目となる韓国と北朝鮮の首脳会談が行われ、「平壤共同宣言」と軍事分野の「合意書」が発表されました。「共同宣言」では、「朝鮮半島全地域での実質的な戦争脅威の除去と、根本的な敵対関係解消」がうたわれ、「朝鮮半島を恒久的な平和地帯にするための実践的措置を積極的に取っていく」ことが明記されました。朝鮮戦争の完全終結に向けて、また一歩前進したということになります。年内には金正恩氏のソウル訪問、再度の米朝首脳会談も日程に上っています。

韓国の文政権は、「ろうそく革命」を通じて韓国の市

民運動がつくりだしました。市民運動こそ、朝鮮半島の非核化と平和への道を切り拓いてきた主人公です。私たち日本の市民運動も、おおいに励まされます。

昨年9月の国連総会でアベ首相は、トランプ大統領とともに、北朝鮮との対話を否定し圧力一辺倒の演説を行って世界の聳^{ひんしゆく}を買い



2016/12/3 ソウル170万人

ましたが、今年は打って変わって対話を打ち出す演説を行いました。アベ政権が路線を変えたのではなく、対話や平和を口にせざるを得なくなるまで世界と日本の平和運動に追い詰められているのです。

今年8月に来日し「日本には模範とすべき平和憲法がある。マレーシアでも同様の憲法を作りたい」と語っていたマレーシアのマハティール首相(94)は、国連総会後の記者会見で「(我々は)戦争に行くことを許さない日本の現行憲法に続くことを考えている」「(日本の改憲が)戦争に行くことを許すようにするなら後退だ」と語りました。マハティール氏の考えは決して特異なものではなく、むしろ世界の対日観の底流になってきました。世界に失望と危機感を与え、「世界のお荷物」となっているアベ政権を、一刻も早く退陣させましょう。

核兵器禁止条約のひろがり、朝鮮半島の平和と非核化の進展は、ジグザグをとまないながら着実に前進してきました。日本でも、沖縄県知事選挙で「オール沖縄」の市民運動に支えられた玉城デニーさんがアベ政権丸抱えの候補に圧勝しました。ここに平和への大道があります。

私たちは忘れてはならない、諦めてはならない



初当選を果たし、支持者とカチャーシーを舞う玉城デニー氏 = 2018年9月30日、那覇市

沖縄県知事選は、翁長さんの遺志を継いだ玉城デニーさんが当選した。この事が突きつけているのは、私達は沖縄の人々に救われたという事である。今度は私達の番である。「アベ政治を許さない!」、全力で安倍を倒そうではないか。

安倍政権は国民の命を奪う

知らなければならないことがある。10月から生活保護費が減額されるのだ。安倍政権で二度目である。最後のセイフティーネットである生活保護が減額されると最低賃金の額、就学援助金の支給要件、保育料、住民税の非課税限度額その他、実に多くの生活支援の制度が改悪の方向に影響を受ける。この減額で浮く予算は160億程度である。一方安倍がトランプから買わされる「大量の」、米国製武器を含めた防衛予算は5兆500億に達する。

県知事選敗北から顔をそむけるようにして、内閣改造が行われた。日本会議、神道政治連盟、ヘイト思想の持主や犯罪、暴言を頬被りした連中の在庫一掃を見るようだ。中でも生活保護パッシングが唯一の仕事であり、天賦人權を否定して恥じない片山さつきを大臣にしたこと。これは高齢、障害、貧困に苦しむ人々を抹殺する内閣であると公言した事に他ならない。

日米地位協定

翁長さんが命を懸けて取り組んだのは辺野古阻止、基地撤去と日米地位協定の改定であった。全国知事会は8月に地位協定の抜本的な見直しを日米両政府に求めた。翁長知事の「基地問題は都道府県の問題ではない」との訴えを受け、2年近くかけて提言に纏めた。提言は米軍への国内法の適用や、事件事故時の基地への立ち入りなどを地位協定に明記するよう要請。米軍の訓練ルート、飛行情報を事前提供すること、基地の使用状況を点検して縮小、返還を促すことも求めている。会

長の上田清司埼玉県知事らは外務、防衛両省と米大使館を訪問し「基地のない県も含めて共通の認識を持った」と述べ、同行した謝花喜一郎沖縄県副知事は「全国知事会としての提言は初めてで心強いこと。沖縄県の思いもすべて入っている。政府は取り組みをお願いしたい」と語った。

地位協定は60年の締結以来一度も改定されていない。改定されない理由は唯一つ、日本政府が米軍にそれを求めないからだ。

神奈川の米軍基地

大和9条の会の資料によれば、神奈川の米軍基地は14か所、座間市の面積に匹敵する土地を占有している。在日米軍司令部が横須



上:厚木基地、下:ロナルドレーガン

賀(海軍)と座間(陸軍)に置かれている。そして横須賀は原子力空母ロナルドレーガンの母港となっている。米軍の海外基地でこんな所は他にない。そもそも日本政府は何人の米兵が日本に居るかを、把握していない。把握できないのだ。米兵は米軍基地に降り立ち米軍基地から飛び立っていく、入出国の記録を取れないのである。

2年前の9月藤沢市議会で「自主・平和・民主国民連合」から出された「日米地位協定の抜本的改定を求める陳情」が総務委員会で趣旨不承となった。しかしその後の本会議で、議員提案の意見書として可決された。

陳情審査では、地位協定が日本に取ってどれ程屈辱的なものか、如実に語られた。米軍機に日本の航空法は適用されない。米軍基地に日本警察は入れず、米兵の犯罪裁判権は米軍が優先する、などである。地位協定は条約ではない。それにも拘らず法律、憲法を超越している。日本の国会が協定の詳細を決める日米合同委員会に全く関与できない。日本が抑止力に頼っているから地位協定があるのではない。日本を米軍に頼らせるために地位協定があるのだ。県民市民の生活と生命の安全をないがしろにされ、人権が蹂躪されている。この屈辱を沖縄県民が多分に負わされ、私達もまた負っている。安倍政権への抗議とともに市議会、県議会にも声を上げていかなければならない。(吉塚晴夫)

ここまで進んだ3000万署名 — うれしかった戸別訪問の署名回収—

国民が政治に求める課題で改憲は最下位であり、国民の過半数が安倍9条改憲に反対しているにもかかわらず、総裁選で3選を果たした安倍首相は、改憲を前のめりで進めようとしています。「安倍9条改憲 NO!」の3000万署名に関しては、「ふじさわ・九条の会」では昨年の9月から1年余り、冬の寒さ夏の暑さにもめげず、100回以上の街頭行動や5回の戸別訪問に取り組んできましたが、9月末の第4次締切までのラストスパートの取り組みとして、再度戸別訪問に挑戦することにしました。まず9月18日に署名用紙、数日後に回収に訪問する旨記載した依頼文と資料、返信用の封筒をセットして150戸を5ブロックに分けて明細地図を片手にマーカーで一軒ずつ印をつけながらポスティング。22日に回収訪問。不在の家が多く、在宅でも封筒を見ていなかったり、見ても協力できないと断る世帯がほとんどでしたが、玄関に署名を置いて待機して



このページの2枚の写真は
9月24日、藤沢駅南口でのスタンディング



日3世帯から返送されて、署名数は合計29筆になりました。「署名しない人は先のことが見えていないんだろう。この子たちの将来のためにぜひ書きますよ。」と夫妻の署名をしてくれた若い父親。ヘルパーさんと間違えて家の中に招き入れたお年寄り話している内にこちらの趣旨が分かって署名。自衛隊員だった父親を持つ男性は、家族としての悩みを話してくれました。このようにどちらにしてもかなりの方と会話できたことの意味は大きく、街頭行動とは違った遣り甲斐を感じました。

9月末までにふじさわ・九条の会では、地域九条の会の署名も含めて目標の6000筆をはるかに超える約8700筆を集めることができましたが、安倍首相の改憲を阻止するために引き続き署名の取り組みを進めていきます。 (島田 啓子)

江ノ電沿線九条の会

(折原 美知子)

「エピソード集第2集」

秋のすがすがしい日から始まった署名活動は、ついに一年になりました。冷たい北風で手が凍える日、暖かくほっこりした春霞の日、命にかかわる酷暑の日、強い風で吹き飛ばされそうになった日。こんな日々を活動し続けられたのは、私たちの会の代表の川崎さんの強い意志が無言で私たちを励ましてくれたからです。「戦争を体験した者だから言えるの。戦争だけは絶対ダメ!」と。

川崎さんは弁天橋の上での様々な人との出逢いを31文字に詠みためていらしたので、それを前回の「エピソード集」とは趣の違う歌集に編集することにしました。

タイトルは 『我ら あらがう』

橋の上で出会ったダラシナイ服装の青年に、「あなたはこれに命を懸けているのか!」と詰め寄られて、私たちがも覚悟が固まりました。黙っていたら賛成派になってしまうのですから、体を張って抵抗の意思表示をしよう、頑張ってきました。

第1集とは違って、どの歌からも、川崎さんの暖かいお人柄と戦争反対の強い想いが伝わってきます。90歳を超えても尚、命を懸けて活動される姿は、私たちの誇りです。

湘南大庭九条の会

(品川 邦之)

湘南大庭九条の会は、毎月2回辻堂駅北口、コンコース、テラスモール前、生協店前で「憲法守れ」のスタンディングを行っています。9月13日、辻堂駅での宣伝、署名活動には明治地域九条の会の会員も参加して9名で行い、過去最高の42筆の署名が集まりました。「安倍改憲NO!」の旗や横断幕を掲げ、胸に思い思いのプラカードをぶら下げ元気よく訴えています。

「自衛隊を憲法に書き込むと自衛隊が大手を振って海外で武力行使をする道につながります」、「署名にご協力ください」の訴えに「頑張ってる、安倍首相は許せない」と怒りを込めて署名して下さる方が増えています。前回のスタンディングの時には、女子高校生が7~8名で「戦争はイヤダ」と次々と署名をしてくれました。

安倍首相は、秋の臨時国会で改憲発議を狙っています。先の自民党総裁選で総裁に選ばれたからといって胸を張っているようですが、各種世論調査では「安倍政権下の9条改憲反対」が多数を占めています。私たちはここに自信をもって改憲反対の3000万署名を達成するために駅頭や地域での署名の訴え、又、友人、知人への訴えなどを強めていきたいと思えます。

沖縄県知事選は勝つべくして勝った！

県知事選ポスターをデニー候補が張替えとの産経記事を見て、那覇市で働いている妻に見てもらった新しいポスターは、翁長知事の写真と「翁長知事の遺志を引き継ぐ」の文字が！

私が交差点で4日間、7時～8時半の手ぶりでデニーさんの桃太郎旗では反応がない中、「翁長知事の遺志を継ごう」の旗には、車が窓を空け手を振ってくれ、通行人が「頑張ってください」と言ってくれる、大変反応が良いものでした。



デニー事務所で22日の集会での翁長夫人の発言などと合わせて、「翁長知事の遺志を継ぐ」の旗とポスター張替で勝ると確信しました。

ところが伊波参議院議員からメールが入り、台風の為に広報版が27日で撤去され残念とありました。ポスターの張替は4～5日？でも肝心の投票日には無い！結果がどうなるかは最後まで分かりません。

新聞の評価は、琉球新報+共同通信が互角、沖縄タイムス+琉球朝日放送+朝日新聞がデニー先行、読売が互角。不思議なことに東京と産経が公明党票は50%と。横浜でのタイムス記者やある市議の情報では、自民党のステルス作戦(業界代表の参議院議員や元閣僚が業界を回って固める)や公明党の議員が乗り込むのは、名護市長選方式。名護市では4万5千の有権者が対象、でも全県では115万人以上なので同じ効果はありません！？

開票時の朝日のホームページでの生中継で、今日の出口調査はデニー氏が上と報道。問題は当日投票より多い期日前投票です！名護市長選ではここで負けました。でも記者は期日前投票の出口調査もあると。

最終は8万票以上の差、そして最高の得票になりました。菅官房長官の悔しい顔？が浮かびます。

デニーさんの勝利の言葉に、この台風で被害を受けた方への言葉が最初で、弱者への気持ちがあると思いました。

残念ながら、宜野湾市長選は5千票差で勝てませんでした。4年後の選挙でひっくり返す準備をしましょう！瑞慶覧さんの南城市は市議を二人増やして、今後は期待できます。

その上で、10・21の那覇市長選も勝つため、10・15～19にまた沖縄行です！ (久保 博夫)



左イラスト
「私たちは翁長さんの遺志を継ぐ」
藤沢・沖縄連帯集会
20180920チランから
参加者 37名
カンパ 54500円

[本の紹介] **九条の会** 飯田洋子著
〈表紙から〉 解説 小森陽一

九条の会



予想を超える広がり
なぜもたらされたのか？

全国、海外に7500を超えるまでに急速

に広がった「九条の会」の運動

長い沈黙と潜行の時を経て、

花伝社1620円

新しい可能性はいかに切り開かれたのか

党派の分裂と対立はいかに乗り越えられたのか……。

「九条の会」の秘密を解く！

〈お知らせ〉

書籍「九条の会」下記学習会で販売



2018年10月26日(金) 18:30～
藤沢市民会館第2展示ホール
参加費 500円、書籍販売あり
講師 井筒 高雄 さん
元陸自レンジャー隊員



月例世話人会でミニ交流会 ご参加ください

これは反戦平和に限らず市内で活動している個人、団体の活動を知り、私たちの勉強と、より若い世代との交流の機会を提供するものです。九条の会の活性化と活動の幅を広げる目的です。

今迄の内容は、「7月ワクワクキャンプ(脱被曝、福島の子供の養育事業)」、「9月藤沢の精神障害者生活支援」、「10月藤沢の有機農業」。今後は核廃絶高校生平和大使、医療生協の活動などを聞く予定です。

これからの行動予定など

- 9の日行動 藤沢駅南口1階 13:30
11/9(金)、12/9(日)、1/14(月)成人の日 **12:00**
- アベ政治を許さない 藤沢駅南口2階 13:00
11/3(土 祝日)、12/3(月)、1/3(木)
- 不戦のちかい 辻堂駅 12/8(土)※詳細は後日



スタンディング 藤沢駅南口
写真左：9/24 上：10/1